

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

## 令和3年度技術情報第16号について（送付）

イチゴのハダニ類について下記のとおり取りまとめましたので送付します。  
なお、本情報は病害虫防除所ホームページ（[www.jppn.ne.jp/kagoshima](http://www.jppn.ne.jp/kagoshima)）にも掲載しています。



## 令和3年度 技術情報第16号

1 農作物名 イチゴ

2 病害虫名 ハダニ類

## 3 発生状況

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 多

## 4 情報の根拠

- ハダニ類の10月の発生ほ場率は47%（平成30年30%）で平成よりやや高く（図1）、発生程度の高いほ場も認められている（表1）。
- 向こう1か月の気象予報は平成より高いと予報されており、さらに発生が増加すると予想される。
- 10月に発生が多かった年（平成29年、27年、24年）はその後の発生ほ場率が、いずれの年も平成より高く推移しており、本年においても注意を要する。

## 5 防除上注意すべき事項

- 天敵を放飼するほ場では放飼前の密度がその後の防除効果に影響するため、防除を徹底する。導入後は天敵への影響を考慮した体系防除を行う
- 薬剤の防除効果を高めるため、下葉かきを行ってから葉裏にかかるよう散布する。
- 薬剤によっては感受性が低下しているため、散布後は防除効果を確認する。
- 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。
- 薬剤によっては、ミツバチに影響があるので薬剤選定に注意する。

## 6 調査結果

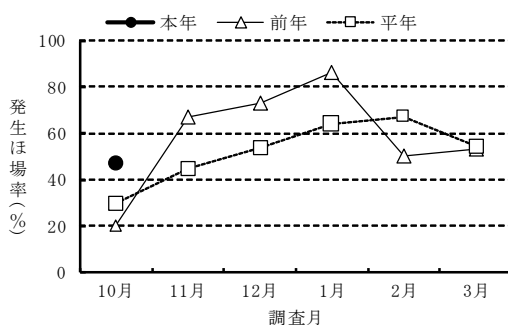


図1 ハダニ類の発生ほ場率の推移

表1 10月の発生程度別ほ場数

調査地点	ほ場数	発生程度				
		甚	多	中	少	無
日置市	4	1			1	2
さつま町	4				1	3
志布志市	7		1		3	3